



# 東京全労協

2015年3月20日 72  
東京都港区新橋6-7-1  
川口ビル6F  
TEL. 03 - 5403 - 1650  
FAX. 03 - 5403 - 1653  
発行人 瀬藤 朗  
定 価 1部 10 円

## 2015 原発のない福島を！ 県民大集会を取り組む！

### 戦争も核もない世界をめざしたい

3月14日、福島市内あづま総合体育館で開かれた「2015 原発のない福島を！県民大集会」に全労協の一員として参加した。

集会は、福島県内と全国各地から6500人が集った。集会に先立ち今もふるさとに帰れない中でも練習を続けている「山木屋太鼓」の勇壮な演奏と福島の若者たち「はっぴーあいらんど」

である「原発のない福島を」めざして開かれた」と開会の言葉を述べた。



2015原発のない福島を！県民大集会へ6500名が参加（2015年3月14日）

ダンサーがあった。実行委員長の福島県平和フォーラムの角田政志さんは「2011年3・11に起きた複合災害によって県民は未だにふるさとに帰れるのか、戻れないのか、戻るのが戻らないのかの中で揺れ動いている。政府や東京電力は汚染水もれを隠し続け、またもや県民を裏切った。今日の集会は県民の共通の願い



キャラバン行動の出発集会も取り組まれた

世代に農業をつなぐためには、原発もTPPもいらない。」と訴えた。JF相馬双葉漁協の遠藤和則さんは「試験操業を続けている。漁師は魚を採ってこそ漁師だ。しかし、原発事故の前の10%の漁獲量しかない。汚染水問題も続いている。原発はいらない」と語った。ひめさゆりの宿ゆもとやの檜澤京太さんは「旅館業は、福島の魅力を支えている。福島が福島に来ることを願っている。しかし、原発事故は収束せず、政府や東電のウソがばれるたびにお客さんが減ってしまつた。」と語った。高校生平和大使の石井凜さんは「スイスに行き世界中の人たちに福島で起きたことを話した。次の世代を担う者として戦争も核もない世界をめざしたい」と訴え、同じく高校生平和大使の本田歩さんは「大飯原発に関する判決文にもあるように、人間が生き続けるこ

との方が原発を動かすことより大切だ。」と力強く語った。曹洞宗円通寺住職吉岡棟憲さんは「どの宗教の教義も命を大切にすること、自然に生かされていることに感謝することである。原発はこの教義と相いれない。原発を作ってしまった私たちは、懺悔と慚愧をするべきである」と述べ、浜通り、仲通り、元どおり」とまとめた。集会アツピールの採択のあと、閉会のあいさつを行った福島大学教授の清水修二さんは集会をまとめるとともに「復興事業の中心の役割を果たすべき公務員の人たちの疲弊状況が激しくなっている。職員の約三分の一のひとが精神的、肉体的体調不良を訴え、約半分の人が定年まで働き続ける自信がないと訴えている。こうした現実も変えていくことが大切だ。オリ

ピックのために「アンダーコントロール」と首相は語ったが、汚染水は漏れ続けている。フクシマを忘れない、忘れさせない取り組みを引き続き続けていこう」と集会のまとめを行った。

### 井上眼科病院闘争 ～ 闘争報告 ～

3月12日（木）証人尋問が行われる。井上眼科病院側は、三井住友銀行元出向者2人が証人として出てくる。この事件は、12年前に私が資格手当を詐取したという捏造事件なのに、当時在職していた者は出廷しない。全く病院側のやることには理解ができない。また、私の証人として出廷するものには、既に出された陳述書で証言の内容によっては圧力をかけるような内容を記載している。

三井住友銀行は、この世の中圧力をかければ全ての者が屈すると思っているのだろう。確かに同行は巨大な資産をもつ大銀行だろうが、決定的に理解できていないところがある。それは、小さい組織には、蜂起するという命がけて戦う覚悟があるということだ。嘘つき者が甘い汁を吸い、正直者が馬鹿を見る世の中にはさせない。3月12日はこの覚悟をとことん井上眼科病院及び三井住友銀行に知ってもらおう。

全労協は集会後、全日建連労組、全港湾、全国一般全国協の青年を中心とする福島連帯キャラバン行動の結団式に参加した。結団式には県民集会に駆け付けた韓国の反原発議員団の人も参加し、「日本にも韓国にもどこにも原発はいらない」と連帯発言があった。

この集会に参加しフクシマの現実を感じるとともに安倍政権が、オリンピック誘致のためにウソをついたことに改めて怒りを感じた。これからも「戦争も核（核兵器も原発も同じ核）もいらない」と行動を続けていきたい。（藤村妙子）



# 15けんり春闘を全力で闘おう！

## 非正規雇用労働者の

### 正社員化と均等待遇を求める闘い

郵政産業労働者ユニオンは3月2日、「非正規雇用労働者の正社員化と均等待遇を求める署名」を日本郵政に提出し、15春闘の第一波行動として中央本部主催の本社前集会を開催しました。

署名数は過去最高の2万8426筆、10年からの累計17万3899筆となりました。集会には組合員、全労連、全労協の支援の仲間合わせて2百名の参加でした。引き続き院内集会を開催し、全国から結集した30名の非正規労働者の生の声を聞き、また「郵政20条裁判をささえる会」の共同代表である竹信三恵子さんの「労契法20条訴訟はなぜ必要か」と題したミニ講演もおこなわれました。



この日、本社前行動に併

せて、東京地本の春闘キヤラバン行動として早朝から、晴海局、玉川局、日本橋局をはじめ各局でのビラ配布、宣伝行動を展開し、本社前集会、院内集会に合流し、その後、夕方には新橋駅前で最高裁の不当決定が下されたJAL争議団の仲間と

ともに、80名の参加者で宣伝行動をおこないました。私たちは、15春闘を大幅賃上げ、非正規労働者の正社員化と均等待遇、業務混乱の是正・大幅増員の実現などの要求を掲げ、ストライキを背景に闘います。非正規署名への協力に感謝するとともに、引き続きの支援をお願いします。

## 2・26東部けんり春闘発足集会

### 格差拡大反対！などを訴えデモ行進

2月26日、亀戸カメリアで東部けんり春闘発足集会が行われ、16労組70名が結集しました。

昨年は大雪で交通機関も止まり、今年は大雨といういわくつきの東部地域春闘の始まりでした。

集会は両宮事務局長の司会で進められ、岸本議長から主催者挨拶のあと、全労協から中岡事務局長、下町ユニオン山本委員長の連帯挨拶。東京全労協副議長からのメッセージ紹介のあと、現在争議を闘い続けている各組合から決意表明が行われました。

和解交渉が決裂し、これからも闘う決意を示した東京労組フジビ分会。NNTTに頸腕の加害責任を追及している木下孝子さん。3年

## フジビ闘争支援共闘会議第2回総会を開催

和解交渉は決裂、

組合は田中一族を

東京地裁に提訴

3月2日、荒川区ムーブ町屋でフジビ闘争支援共闘会議は第二回総会を開催した。

支援共闘会議の久保議長は、昨年末からの和解交渉はフジビ会長のかたくなな態度で決裂した、第二ステップに進むフジビ闘争を支援共闘会議の結集した力で勝利させよう訴えた。

続いて、当該の小金井分会長が、共闘会議結成後一年間の活動経過を報告し、地域と密接につながりながら闘いを展開してきたこと、共闘会議が大きな力になってきたことを報告しながら、



「中小企業の労働者の組織率はわずか1%、中小企業で働く全ての労働者のためにも、勝利までがんばって闘っていく」と決意を述べた。

その後、今後の当面の方針として、現場闘争の再開・強化、社会的・政治的包囲の強化、労働委員会や裁判

闘争の方針が提案され、満場一致で採択された。荒川区職労と昭和シエル労組、東部全労協など共闘会議に参する労組とJAL争議団の連帯挨拶の後、「地域や議会も注目する『フジビ闘争』が多くの中小企業労働者が直面している闘いであり、労働運動の

真価が問われる意義ある闘いである。「争議の全面勝利をめざす」との決議を採択して団結ガンバローで新たな段階に入ったフジビ闘争の勝利を誓い合った。総会後の3月6日、組合はフジビと田中一族を被告に損害賠償請求事件を地裁に提訴した。

## 東京全労協常任幹事の紹介

### 「労働相談からの組織化」を原点到

全国一般東京東部労組書記次長の矢部明浩です。定



期大会において、常任幹事に選出されました。よろしくお願いたします。東部労組はおもに、職場に基軸を置く活動を、支部組織を通じ展開しております。

主だったものでも、東京メトロ駅売店に勤務する契約社員で組織するメトロコマース支部では、非正規差別撤廃・65歳以降の継続雇用を目指し、また契約塾講師らで構成する市進支部に

あつては、「51歳定年・雇い止め」の不当性をめぐり、それぞれストライキと裁判闘争を繰り広げています。

一方、関連団体「NPO法人労働相談センター」では、昨年8268件の労働相談にに対し、多くの組合加入・支部結成に結びつけています。

労働相談は、労働者のナマの声を直接受け止められ、その労働者が抱える問題を目の当たりにでき解決の道筋を立てられる、またよい組織化のチャンスであることは論を待ちません。「私たちだけじゃない。」

ほかの仲間も」という発展性も兼ね備えています。「組織化の原点は労働相談にあり」と言ってもいいのではないのでしょうか。

東京全労協では、この組織化の原点「労働相談」をさらに活性化させ、職場からの運動へと着実に結びつけていきたいと考えています。

具体的な腹案は、これからの「お楽しみ」として取っておくことにしましょう。何はともあれ、重ねてよろしくお願いたします。東部労組 矢部

フクシマを忘れない！ さようなら原発 大講演会

2015年3月28日(土) 18:30開場、19:00開演 新宿区立新宿文化センター

フクシマを忘れない！ さようなら原発大講演会 2015年3月28日(土) 18:30開場、19:00開演 新宿区立新宿文化センター